



さかわようちえんだより~12月号~

さ:最後までがんばる子 か:感じる心をもった子
わ:わくわくしながらチャレンジする子

令和2年11月30日
小田原市立酒匂幼稚園
園長 向笠 弘子

登園してくる子どもの手に、赤や黄色の葉が見られるようになりました。保護者の方と道を歩きながら見つけた紅葉した落ち葉。そこに心を惹かれる子の感性の豊かさと、葉を拾うのを待つ保護者の方の穏やかな心に感動を覚えます。なかなか収束が見えない新型コロナウイルス感染症で変わってきている子育てや生活。そのような中でも、保護者の温かいまなざしの中で、子どもたちのしなやかな心が育っていることを感じます。

そろそろ街中に、ジングルベルが聞こえてくる頃となりました。第2学期の締めくくりの12月。子どもたちの思いや想像が広がり、第3学期につながっていくような園生活を、子どもたちと共に創っていきたいと思います。



生活発表会に向かう過程の中で...

園だより11月号でお知らせしたように、生活発表会は子どもたちが園生活で経験したことでできています。自ら関心をもったことに取り組み、自分以外の誰かの考えを取り込みながら考え、「なぜ?」「どうやったらできる?」と深め進めてきた遊びが基になっています。(これをアクティブラーニングと言います) その過程で、子どもたちは何かに気付いたりできるようになりました。(※知識及び技能の基礎) そして、それを生かしながら「自分たちがやりたいこと」に向けて、考えたり試したり工夫したりしてきました。(※思考力、判断力、表現力の基礎) さらに、感じる心ややりたいと思う気持ちが育ち、粘り強く取り組むこと、友達と協力すること、挑戦していくこと(※学びに向かう力、人間性等)を繰り返し今回の発表会に至っています。すでにご覧になった方は、振返って、これからご覧になる方は、ご覧になりながら、子どもたちにどのようなことが育っているのかを見つけていただけたら嬉しく思います。

※「幼稚園教育において育みたい資質・能力」です。
これは、小学校以降の教育につながって育まれていきます。



さくら組12月のおだわらっ子の約束
もったいないことをしません

地域の方との交流

酒匂幼稚園の良さの一つ、地域の方との交流。コロナ禍の中で、今年度は実施する機会が減ってしまいましたが、11月は2回年長さんの地域の方との交流の機会がありました。サッカー教室では、加藤コーチの指導のもと、みんなでルールを守って活動する楽しさを感じ、その中で、思うようにできなくても頑張る姿が見られました。育てやさんの活動では、畑の先生の鈴木さんが来園してくださり、年長さんが収穫をした後の畑を耕してくださいました。活動が終わった後、だれに言われたでもなく鈴木さんの傍に来て「鈴木さん、ありがとう。」と伝える子どもの姿も見られ、感謝する心が育っていることを感じました。このように、子どもたちの心の育ちが見られる地域の方との交流を大切にしていきたいと考えています。



ほし組12月のおだわらっ子の約束
人の話をきちんと聞きます

うみ組12月のおだわらっ子の約束
決まり 約束を守ります